

税の書道展 河嶋さんが金賞



田中町長から表彰状を受け取る河嶋さん

令和6年度「税を考える週間」中学生書道展の表彰式が11月12日、妹背牛中学校で行われ、1年生の河嶋来実さんの作品が金賞に選ばれました。

税に関心を持ってもらうための書道展で、同校からは1年生の作品19点のうち8点が入選しました。河嶋さんはバランスの良い4文字の「電子申告」を題材に選び、便利な納税方法について調べてから作品を出品。「とてもうれしいです」と、金賞受賞を喜んでいきます。

自慢の歌声 カラオケ大会で交流



昭和歌謡の名曲で会場を盛り上げるカラオケ大会の参加者

妹背牛町老人クラブ連合会は11月8日、町民会館でカラオケ大会を開き、ステージに立った男女18人が自慢ののどを響かせました。

カラオケを楽しんで健康の維持に役立ててもらおうと、昨年に続いて2回目の開催。審査員を含めて130人が集まった会場は終始、熱気に包まれました。

マイクを握った出場者たちは昭和のヒット曲を中心に自慢の歌声を披露し、会場を盛り上げました。

先生は地域の高齢者 昔遊び体験



高齢者に遊び方を教えてもらいながら、昔遊びを体験する子どもたち

妹背牛小学校は10月22日、特色ある授業を公開する「地域参観日」を開き、1～6年生が地域の人たちと触れ合いました。

この日は学年ごとに、深川警察署のメディア安全教室やベトナム人地域おこし協力隊員によるバンブーダンス体験などが行われました。

このうち2年生は、地元の高齢者に遊び方を教えてもらいながら、昔遊びを体験。おはじきやお手玉、カルタなどの遊びに夢中になっていました。

すまい・ルでボウリングゲーム



園児たちに囲まれながら、ボウリングゲームを楽しむ高齢者

認定こども園妹背牛保育所の3～5歳児の16人が10月9日、生活支援ハウス「すまい・ル」を訪れ、入所するお年寄り12人と一緒にボウリングゲームを楽しみました。

町地域包括支援センターが企画。園児たちはまず、元気いっぱいにお遊戯を披露し、お年寄りを楽しませました。

続いて、空のペットボトルをピンに見立てたボウリングゲームが始まると、ストライクが出るたびに施設内は盛り上がりました。

職場体験 中学生が職業観を養う



グループホーム「べにばら妹背牛」で高齢者とゲームを楽しむ中学生

妹背牛中学校の2年生20人が10月4日、町内の13事業所に分かれ、職場体験をしました。職業観を養うキャリア教育の一環で、生徒たちは将来の進路選択に役立てました。

このうち、グループホーム「べにばら妹背牛」では、生徒2人が入居者と一緒に風船を落とさないように続けるレクリエーションを楽しみました。また、食事や洗濯を手伝ったり、世間話を楽しんだりしながら、介護の仕事に触れました。

神奈川の修学旅行生 住民と百歳体操



地域の高齢者と健康体操を楽しむ生田高の男子生徒（右）

修学旅行で道内に滞在していた神奈川県立生田高校の2年生が10月7日から1泊2日の日程で妹背牛町に宿泊し、農業体験や健康体操を通じて、地域住民と交流を深めました。

運動部に所属する男子生徒4人は初日に大豆の収穫を体験したほか、ライスセンターを見学。翌日、NPO法人「わかち愛もせうし」の「いきいき百歳体操」に参加した前島陽人君（16）は「皆さんの元気な姿に驚きました」と、笑顔で話しました。

スポーツ少年団が交流会



各スポーツ少年団員がチームを組んでドッジボールを楽しんだ交流会

妹背牛町と近隣市町のスポーツ少年団員を対象にした交流会が10月19日、町総合体育館で開かれ、参加した子どもたちがドッジボールを楽しみました。

異なる少年団の交流を目的に開催し、ミニバスケットボール・野球・バドミントン・空手の4団体から約50人が参加。子どもたちは7チームに分かれて、勝敗を競いました。

和やかな雰囲気の中、ボールを投げ合う子どもたちの元気な声が体育館に響きました。

感謝の気持ちで手作りポスター

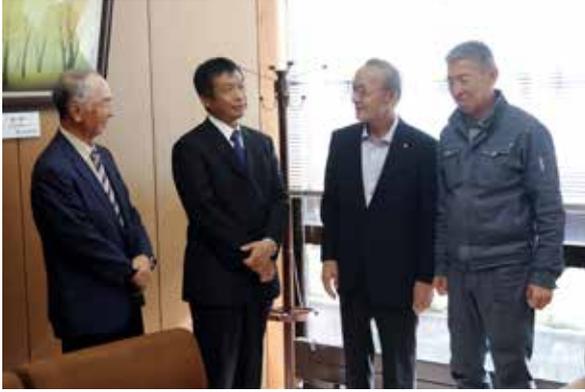


事業所見学のお礼として、小学2年生が手作りした、フレッシュマーケットしんたにのポスター（左）と深川消防署妹背牛支署への感謝状

町を探検する生活科の授業で町内の事業所を見学した妹背牛小2年生の13人が11月5日、手作りのポスターと感謝状にお礼のお手紙を添えて、協力事業所に届けました。

フレッシュマーケットしんたにには、色とりどりの生鮮食品が目を引くポスター、深川消防署妹背牛支署には授業への協力と日ごろから地域の安全を守る消防活動への感謝の気持ちを込めた賞状を贈り、ともに入口付近に掲示されています。

カーリング国際大会の審判員 橋向さん



カーリング国際大会の審判員として、意気込みを語る橋向さん（左から2人目）

カーリング歴約30年の橋向利勝さんが、10月下旬にカナダで開催された国際大会「パンコンチネンタル選手権2024」ディビジョンB男子の競技審判員を務めました。

海外で開かれる国際大会で日本人が審判を務めるのは国内2人目、道内では初めて。10月22日、田中一典町長から激励を受けた橋向さんは「国際大会での経験や人脈を生かし、カーリングのまちを盛り上げていきたいです」と話しました。

青竹踏みで脳と足裏を刺激



滝本さんの動きに合わせて、参加者たちが運動を楽しんだ介護予防教室の様子

町内在住のフィットネスインストラクター・滝本静さんを講師に迎えた介護予防教室「青竹踏みエクササイズ」が10月23日、保健センターで開かれ、参加者13人が足裏を刺激しながら、楽しく体を動かししました。

町地域包括支援センターが主催。気軽に体幹や下半身の筋力を鍛える運動に親しんでもらおうと、青竹踏みを企画しました。認知症予防や血行改善にも効果があるとされ、介護予防教室は今後も開催される予定です。

商工会がお客様謝恩パーティー



演歌ライブで会場を盛り上げる入山さん

妹背牛商工会サービス業部会は10月25日、町民会館で「お客様謝恩パーティー」を開き、大勢の来場者が「歌う看護師」として活躍する入山アキ子さんの演歌ライブを楽しみました。

入山さんは「歌も看護も心から」をモットーに全国の介護施設や病院に向き、音楽活動を精力的にこなしています。

この日も会場で伸びやかな歌声を披露すると、飲み物を手に演歌を楽しんでいた来場者から大きな拍手が送られました。

地震の対応 妹背牛中で防災教室



避難時に必要な物について発表する生徒

妹背牛中学校は10月21日、地震発生時の対策について考える防災教室を同校体育館で開きました。

教室は、釧路沖を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生した後、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されたことを想定。札幌管区気象台の職員が講師を務めました。

生徒たちは、避難ルートの確認や準備しておく生活用品について意見を出し合った後、各級の代表者が発表しました。